

初期臨床研修管理委員会

委員長 兼 プログラム責任者 西 将則

副院長
リハビリテーション科部長
入退院支援センター センター長



2022年度総括と2023年度について

2022年度は4名の新人研修医を迎え、計9名の初期臨床研修医が当院で活躍してくれました。昨年度以上にCOVID-19は猛威を振るい、4月の入職式は第6波の最中で、新人研修医2名がCOVID-19に感染していることが発覚し、そのまま入院となってしまいました。医師としての船出が意外な形となり、残りの2名も含め不安もあったと思いますが、患者さんの気持ちを感じられる良い機会になったと思われまます。この混乱の中、初期臨床研修医にも突発的な対応を迫られることもありましたが、皆でカバーしあい、団結して乗り越えてくれました。なかでも印象的だったのは、誠馨会初期臨床研修医合同研修会です。今年度は当院が幹事病院であり、当初9月に予定されておりました。またしてもCOVID-19の第8波の最中で、社会的には中止が簡単にオンライン開催とする方法もありましたが、ここ数年誠馨会の初期臨床研修医が一堂に会することはなく、お互いの交流がほぼ皆無であったことから、現地開催に拘りなんとか11月にハイブリッド開催にこぎつけました。しかも企画はすべて初期臨床研修医が中心に行うといった、当該研

修会発足以来初めての試みでした。その準備では2年目の研修医がリーダーシップをとり、1年目の研修医を含め我々研修管理委員と度重なるディスカッションを行いながら作り上げる、まさしく共同作業でありました。エビデンスも大事ですが、なぞるだけではなく、何も無いところに何かを生み出すということの面白さや大変さを感じることができたのではないかと思います。

研修全体について話を戻すと、この混乱の中でも研修プログラムが中断されることもなく、無事研修を進めることができました。当院で経験できない研修を今までと変わりなく受け入れてくださった連携病院にも大変感謝しております。

初期臨床研修医は、ポストコロナの時代にむけ、重要な役割を担う次世代の医療従事者です。だからこそ色々な経験を積み、技術だけではなく人間力を高めてもらう必要があります。我々研修委員会としても、そういった研修医の成長過程を見守り、後押しできるような存在でいられるよう努力をしていきたいと思っております。



初期研修医の業績

■学会発表

開催日	学会名・招聘先	演題名	役割	開催地	氏名
2022.11.19	第8回誠馨会初期臨床研修医合同研修会	大量腸管切除を行なった上腸間膜動脈血栓症の一例	演者	松戸 Web	籠田 正幸
2023.2.25	日本消化器病学会 関東支部第373回例会	壁細胞優位の胃底腺型胃癌の一例	演者	東京	十日市 悠河

初期研修医 1年目 籠田 正幸

私は第8回誠馨会初期臨床研修医合同研修会で、新東京病院代表として症例発表しました。症例を担当してくださった消化器外科の岡部寛先生、宮原洋司先生の熱心なご指導のおかげで、見事優勝することが出来ました。今回、症例発表を通して感じた感想を書こうと思います。この症例発表の良いところは、勉強した内容がすぐに実臨床に活かせる点です。学会発表となると専門医の先生に対して興味がある内容を発表するため、研修医の先生にとっては専門性の強い症例を発表することになりますが、研修医会は研修医に対して行うため、勉強した内容をすぐに自分自身の業務に活かすことが出来ます。加えて、スライドは学会発表と同様の形式で作るため、研修医にとって非常にプラスとなる発表であったと思います。

1年次の研修内容ですが、外科（2ヶ月、外科選択1ヶ月）、ICU・麻酔科（1ヶ月半ずつ）、心臓内科（3ヶ月）、消化器内科（3ヶ月）をローテーションします。内科ローテーション中は外来研修、外科ローテーション中は救急外来が週1回あります。当院の研修の特色は、病棟管理に関して研修医の裁量が大きい点と経験できる手技の多さであると思います。また自分がこうなりたいという意志があれば、それに確実に応えてくれる病院なので、ぜひ当院と一緒に研修できればと思います。病院見学も再開いたしましたので、興味のある方は一度見学に来てみてください。

初期研修医 2年目 渡辺 剛久

研修医2年次は7ヶ月の自由選択の院内研修に加え、当院救急科と他院での産婦人科・小児科・精神科・地域医療を1ヶ月ずつ行います。比較的自由度の高いプログラムであり、自分の希望に合わせて充実した研修を行っています。

また研修プログラムの一環として年に1回、誠馨会の他の病院と合同で初期臨床研修会を実施しています。参加人数は約40人で、内容としては各病院代表者による症例プレゼンと研修医が主体となって行う勉強会になります。

今年度の勉強会は当院が主催であり、研修医同士でディベート形式での討論会を行うことにしました。働き方改革、初期研修医制度、オンライン診療について賛成・反対の立場から討論を行いました。各テーマそれぞれ白熱した討論が繰り広げられており、普段の研修とは違った経験ができたのではないかと思います。また私個人として、同期や後輩と助け合いながら勉強会全体を監督し、企画から座長まで自分達で実行したという経験は研修医生活の中でもかけがえのないものとなりました。

2年間の初期研修で数多くのことを学び、成長できたことを実感しています。指導してくださった方々、支えてくださった方々に感謝申し上げます。今後は学んだことを活かしながら、より一層社会に貢献出来るよう精進します。ありがとうございました。

研修医へのメッセージ 副委員長 高野 光

初期研修医の先生方、当院での研修お疲れさまでした。私は整形外科医師としての活動が多いので、初期研修医の先生方とは救急外来で患者さんを一緒に診療したり、ローテーションで整形外科を回ったときに一緒に手術をしたりする際に接してきました。常に一緒にいるわけではありませんでしたが、診療で会うたびに先生方が成長していることを実感でき、とても頼もしく感じていました。当院で実施した合同研修会の企画運営も、自分達で計画・実行して素晴らしかったです。今後の更なる飛躍を期待します。お体に気を付けて。

